

舞鶴高専技術通信

(2012夏号)

2012/07

舞鶴工業高等専門学校 地域共同テクノセンター

高専制度創設50周年記念

第10回 全国高専テクノフォーラム

「高専における産学官連携の現状と今後の進展
—成功事例にみる地域社会貢献—」

全国高専テクノフォーラムは、内閣府の産学官連携サミット等をきっかけに、平成15年から開始しました。

全国高専の産学官連携・地域貢献活動において中心的な役割を果たしている教職員が一堂に会して意見を交換することで、人的ネットワークを構築し、産学官連携の一層の推進を図るとともに、高専間連携の方策を探り、高専全体の活性化に資することを目的としています。

今年度開催の第10回全国高専テクノフォーラムでは、特に各高専と産学官連携活動に取り組まれている企業関係者等による成功事例発表、起業家卒業生によるパネルディスカッション等を通じ、産学官連携活動の現状と必要性、今後の役割について参加者と共に考えて参ります。

全国高専テクノフォーラムを新たな出会いの場として活用いただきたいと思います。

【日時】

平成24年8月20日(月)

【会場】

国立京都国際会館 アネックスホール
〒606-0001 京都府左京区宝ヶ池

【主催】

独立行政法人国立高等専門学校機構
担当:近畿地区国立高等専門学校
世話校:舞鶴工業高等専門学校

【後援】

文部科学省、経済産業省、京都府、関西経済連合会、産業技術総合研究所関西センター、京都商工会議所、大阪府立大学高専産学官交流会、京都北都信用金庫、日進製作所、日東精工、堀場製作所(50音順)

【開催趣旨】

国立高等専門学校(以下「高専」)は、設置後50年に亘って、産業界や地域社会と連携した教育研究活動を通して、実践的かつ専門的な知識や技術を有する創造的技術者を輩出してまいりました。

第10回となる今回の全国高専テクノフォーラムでは、高専制度創設50周年を迎えて各高専がそれぞれの地域で行う産学官連携の現状を特に取組中の産学官連携における産官の関係者に成功事例の発表いただくなど、各高専と繋がり深い企業などの関係者の多数の参加の下で、社会における今後の高専の役割について議論を深めるとともに、起業が盛んな関西地域の地域性を考慮し、高専卒業

の起業家を招き、彼らから見た高専や高専のこれからのあり方などを共に考えたいと思います。

産学官の多くの方々から幅広くご参加いただき、高専の研究力・連携力の向上、イノベーション創出に向け、ご討議とご懇親を深めていただきますようお願いいたします。

【フォーラム内容】

本フォーラムは、基調講演、パネル討論、高専における産学官連携事例の展示・説明で構成します。

【参加対象者】

1. 国公立高等専門学校に所属する教職員
2. 産学官連携を支援する公的支援機関、企業関係者
3. その他産学官連携を支援する一般市民

【参加定員】500名

【参加費】無料

【参加申込み】昼食・懇親会(参加費6,000円)

【本件問い合わせ先】

(独)国立高等専門学校機構企画課企画第二係 TEL 03-4212-6815

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号 学術総合センター10階

平成24年8月20日(月)

10:00 開会

挨拶 小畑 秀文
独立行政法人国立高等専門学校機構理事長
挨拶 太田 泰雄
テクノフォーラム実行委員長
舞鶴工業高等専門学校長
祝辞 文部科学省科学技術局長(予定)
祝辞 経済産業省近畿経済産業局長(予定)

10:20 理事講演

五十嵐 一男
独立行政法人国立高等専門学校機構理事

10:50 基調講演「おもしろ おかしく」

堀場 雅夫 氏
株式会社堀場製作所最高顧問

11:50 昼食

12:40 高専卒業生アントレプレナーによる
パネルディスカッション

13:40 パネル展示コアタイム

14:10 各高専の産学官連携事例取り組み発表

17:00 終了

17:15 産学官交流会(懇親会)

19:00 閉会

http://www.kosen-k.go.jp/joho_symposium.html

産学連携, および研究技術の関連行事

1. 金環日蝕と金星太陽面横断

今年は珍しい天体现象が目白押し年で、科学教育の動機付けのための恰好の材料を提供しています。

① 金環日蝕

平成24年5月21日(月)、日本の広範囲で見られるものとしては932年ぶりの金環日蝕が、7時30分に見られました。残念ながら、舞鶴は北限界線以北で部分日蝕のため、京都市で撮影した、本校の塩見名誉教授撮影の写真をお借りしました。

(両丹日々新聞平成24年5月22日(火)号。許可を得て転載。)



日本中が興奮した21日朝の金環日食。福知山市など府北部は髪飾りのカチューシャのような形の日食になったが、完全なリングの金環を求めて遠出をした人たちもいた。勅使の舞鶴高専名誉教授、塩見堯さん(72)は、京都市西京区で金環日食をカメラに収めた。貴重な「ベイリー・ビーズ」と呼ばれる現象も撮影できた。



塩見さんは長く舞鶴高専で物理を教え、2007年から今年3月までは小学校の理科支援員として、子どもたちに天体のことも含めいろんなことを分かりやすく説いてきた。在職中、金環日食のことにも触れ「みんな見ておいてね」と呼びかけていた。

カメラを構えたのは午前6時ごろ。太陽を追尾しながら撮れる簡易赤道儀を使い、フィルター5枚で十分に減光させ、欠け始めの17分から撮影を開始した。そのころ京都市内はくもり空。太陽は雲から出たり隠れたり、気をもみながらの撮影となったが、7時15分ごろから雲が消え、最大食の7時30分ごろには、クッキリとした姿を確認することができた。

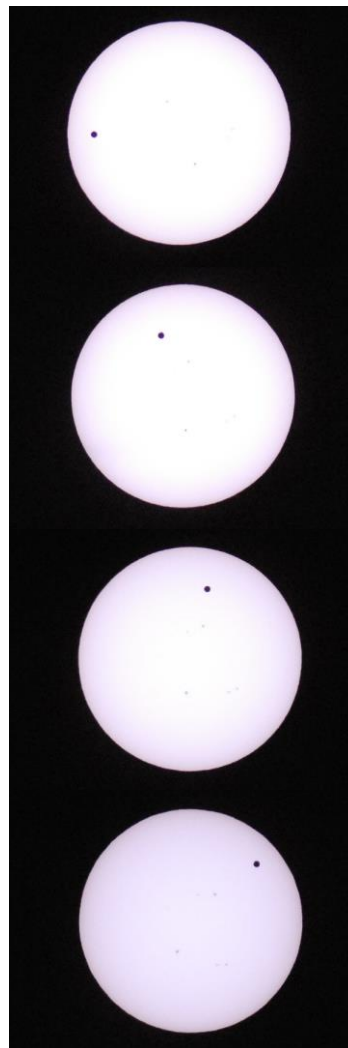
塩見さんが撮影した西京区あたりは金環日食の北の限界線付近とされ、リングに細い部分が出来、月面の山や谷による凹凸から漏れた光が、ビーズが連なったように見える「ベイリー・ビーズ」を確認できた。

「わざわざ狙って限界線付近へ撮影に行く人もいますが、私は撮影ポイントに決めていた場所で、たまたま写すことができました」と満足の笑顔を見せていた。(引用おわり)



② 金星太陽面横断

平成24年6月6日(水)には、金星が太陽面を通過する「金星の太陽面通過」が舞鶴でもはっきりと見られました。次回見られ



るのは105年後になります。午前7時10分から、太陽面に金星の黒い円形の影が見え始め、雲に隠れる時間帯もあったものの、はっきり確認され、午後1時47分まで続きました。

写真 金星の太陽面通過の様子

金星は左下から右上の黒く見える点。下部の点は太陽黒点。左欄下から右欄上の順に、6日7時34分、8時36分、10時41分、11時38分、12時33分。舞鶴高専から、自然科学部門 宮崎昭仁が撮影。

2. 舞鶴市主催「企業塾入門講座」

6月5日(火)に舞鶴市主催「企業塾入門講座」が舞鶴市商工観光センターコンベンションホールで開催され、企業展示ブースに舞鶴高専も出展しました。

3. 情報科学センター講演会(公開講演会)

平成24年6月7日(木)、舞鶴高専において、第34回情報科学センター講演会が開催されました。人文科学部門 児玉圭司講師が「牢屋」はどこへいった?——犯罪者をみる人々の眼差し、建設システム工学科三輪浩教授が「米国イリノイ大学での研究と生活」という演題で講演を行いました。

今回の講演会は12月頃の予定です。学外からも自由に参加可能ですので、講演時期が近づきましたら、舞鶴高専ウェブサイト上でご案内させていただきます。

ご意見ご要望の募集について

舞鶴高専技術通信をより充実したものにしていくため、外部からのご意見や技術記事等のご要望を広く求めています。舞鶴高専の教職員が一丸となって、企業の皆様に役立つ情報を順次お届けして参ります。舞鶴高専から「プロジェクト参加募集」、「勉強会の開催案内」、「研究紹介」もお伝えする予定です。忌憚のないご意見・ご要望を、地域共同テクノセンター事務局・自然科学部門 宮崎昭仁までお寄せください。